



©Expo 2025

nite

【機密性1】

資料 7

認定スキームの開発等について

2025年8月25日（月）

認定スキーム開発等における公平性確保

＜公平性確保のために必要な事項＞

- ✓ 認定スキームの開発にあたっては、そのスキームに関係する利害関係者（スキームオーナー、適合性評価機関など）との連携・調整は不可欠・・・
- ✓ 一方で、それら特定の利害関係者だけに有利となる認定スキームであってはならない

➡ 要求事項等の策定において、他の利害関係者が確実に関与できる体制の確保が必要

- IAJapanでは、要求事項等を審議する技術委員会（分科会）において、利害関係に偏りが出ない委員構成となるよう委員を選定
- また、パブリックコメントの実施により、要求事項等について広く意見募集

＜参考＞ISO/IEC 17011

4.4 公平性に関する要求事項

4.4.5 認定機関は、公平性を確保するために、利害関係者が効果的に関与できる機会を提供するためのプロセスを文書化し、実施しなければならない。認定機関は、利害関係者の関与において、単一の利害関係者が支配力をもつことなく、均衡のとれた代表構成となることを確実にしなければならない。

4.6 認定スキームの確立

4.6.2 認定機関は、使用する手引、適用に関する文書又は規準文書が、必要な力量をもつ委員会又は要員によって、適切な利害関係者の参加を得て開発されることを確実にしなければならない。

IAJapan公平性の確保に関する方針＜抜粋＞

5. 適切な利害関係者の特定、利害関係者の均衡のとれた構成

IAJapanは、審議される対象及び時期によって審議案件に関係する利害関係者が変わりうるものと考え、それら利害関係者を適切に特定し、各委員会における利害関係者の均衡のとれた代表構成を確実にする。

6.(3) 認定活動の客観性を確実なものとするために

②IAJapanは、認定スキーム等を審議する各技術委員会及び／又は分科会への適切な利害関係者の参加を求め、協議する。

③IAJapanは、上記委員会において、適切な利害関係者を委員として参加させ、協議させる際、単一の利害関係者が支配力をもつことなく、均衡のとれた委員構成とする。

④IAJapanは、認定スキームの開発時及び拡大時並びに既存認定スキームの縮小時、廃止時にはその意思決定前に適切な利害関係者への意見聴取を行い、次の事項について課題が解決しているか、提出された意見を考慮する。

ア. 利害関係者の見解

イ. 契約上の義務

ウ. 移行措置

エ. 縮小又は廃止に関する外部とのコミュニケーション

オ. IAJapanが発行した情報

⑤IAJapanは、公平性の取組みに対する利害関係者からの意見募集として、IAJapanのWEBサイトから広く利害関係者からの意見を募集する。

前回委員会後に創設・拡充した認定スキーム

◆ 自動車の内装材の燃焼性試験に係る試験所認定の拡充

- ❑ 対象となる適合性評価機関：試験機関
- ❑ 認定基準：ISO/IEC 17025
- ❑ 対応プログラム：ASNITE-T（一般）
- ❑ プログラム創設日：2024年12月24日（[Webサイト申請受付開始案内](#)）

- ✓ 欧米を中心とした自動車メーカーが、材料及び部品のグローバルな調達基準としてIATF 16949認証取得を採用
- ✓ IATF 16949は、外部試験所がILAC MRAの署名認定機関からISO/IEC 17025の認定を取得していること、試験報告書に認定シンボルを付すことを要求



- ✓ JIS D 1201の燃焼性試験をJNLAの対象としていたところ、
- ✓ 類似の試験方法であるISO 3795、FMVSS No.302（米国運輸省の基準）をASNITEの試験区分として追加
→ **JISと国際規格とをワンストップで認定可能に**

前回委員会後に創設・拡充した認定スキーム

◆ 自動車の内装材の燃焼性試験に係る試験所認定の拡充（続き）

公平性の確保について

□ 試験事業者技術委員会車両分野技術分科会の開催

形式： 書面審議

開催日時： 2024年11月11日（月）～ 2024年11月14日（木）

内容： 区分表の改正

メンバー： 有識者 1名

CAB 2名

CABの顧客 1名

□ パブコメの実施

期間： 2024年11月18日（月）～ 2024年12月2日（月）

結果： 意見なし

前回委員会後に廃止した認定スキーム

◆ ASNITE製品認証機関認定スキーム「カシミヤ100パーセントタグ制度」

- ❑ 対象となる適合性評価機関：製品認証機関
- ❑ 認定基準：ISO/IEC 17065（JIS Q 17065）
- ❑ 対応プログラム：ASNITE-Product
- ❑ プログラム廃止日：2024年12月18日

前回委員会後に廃止した認定スキーム

◆ ASNITE製品認証機関認定スキーム「カシミヤ100パーセントタグ制度」 (続き)

公平性の確保について

□ ASNITE製品認証機関技術委員会の開催

形式： オンライン審議

開催日時： 2024年10月28日(月) 14:00～15:30

内容： 認定業務のとりやめについて

メンバー： 有識者 2名

スキームオーナー 1名

CAB 1名

消費者団体 1名

□ パブコメの実施

期間： 2024年11月25日(月) ～ 2024年12月9日(月)

結果： 意見なし

新規開発中の認定スキーム

※ JC-STAR：セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度

◆ JC-STAR※における評価機関の認定スキーム

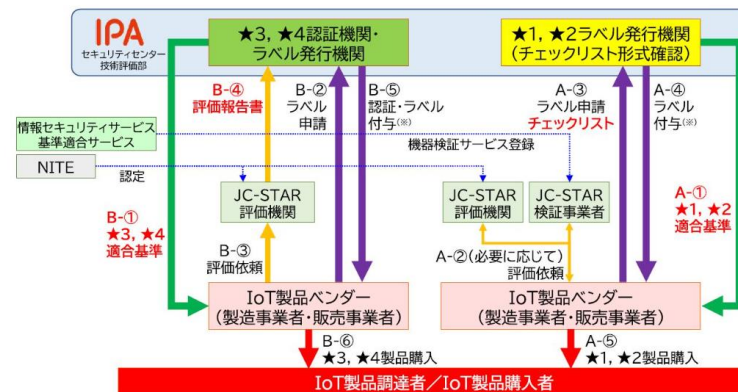
- ❑ 対象となる適合性評価機関：試験機関（JC-STAR評価機関）
- ❑ 認定基準：ISO/IEC 17025
- ❑ 対応プログラム：ASNITE-T（IT）
- ❑ プログラム創設日：（未定）

- ✓ 経済産業省が公表した「IoT製品に対するセキュリティ適合性評価制度構築方針」に基づき構築された製品認証制度で、IPA（情報処理推進機構）が運営
- ✓ 対象は、**高いセキュリティレベルが要求されるIoT製品**
→政府機関や重要インフラ事業者等が調達する製品を想定（右図の★3、★4が該当）
- ✓ 独立した第三者評価機関による評価報告書に基づき、IPAが認証・適合ラベルを付与することで高い信頼性を確保
- ✓ **IAJapanが、この第三者評価機関を認定**
→**該当製品の評価結果の信頼性を確保**

JC-STARスキーム

本制度では、申請を行う適合ラベルのレベルの違いにより、手続きが異なります。

★1（レベル1）と★2（レベル2）は自己適合宣言に基づく適合ラベル付与、高い信頼性が求められる★3（レベル3）と★4（レベル4）は第三者による適合評価・認証に基づく適合ラベル付与に大別されます。



出所：IPA（独立行政法人情報処理推進機構）

新規開発中の認定スキーム

◆ JC-STARにおける評価機関の認定スキーム（続き）

公平性の確保について

□ 試験事業者 I T 技術委員会の開催

形式： オンライン審議

開催日時： 第一回 2025年6月25日(水) 10:00～12:00

第二回 2025年8月6日(水) 10:00～12:00

内容： 新規認定スキームの創設

メンバー： 有識者 4名

スキームオーナー 1名

CAB (CB) 1名

CAB (EF) 2名

CABの顧客 2名

※ 準備でき次第、パブコメ実施予定